

# KGRI Lecture Series

## 社会変革を導く

「すべての米国市民のための婚姻の自由」キャンペーンから学ぶ＜変革を勝ち取るための教訓＞

("Leading Social Change – Lessons on How to Win from the US Freedom to Marry Campaign")



**Speaker: Evan Wolfson** (エヴァン・ウォルフソン)  
弁護士

**Coordinator: 駒村圭吾**

(慶應義塾常任理事/KGRI所長/法学部教授)

**中井 綾** (LLAN, 弁護士)

**日時 : 2018年3月9日 (金) 14:30-16:30**  
**(開場14:00)**

**場所 : 三田キャンパス 北館ホール**

**言語 : 英語 (同時通訳なし)**

**参加費 : 無料**

**事前登録不要 (どなたでもご参加いただけます)**

講師紹介：全国の全州の同性婚合法化にむけて設立されたFreedom of Marry の創設者兼代表であり、2015年の米国全土での同性婚が実現されるまで、30年以上活動を継続し、多大な貢献を行う。エヴァンのこれまでの活動については、数多くの賞を受賞した映画「Freedom to Marry」に描かれており、公開直後から日本でも幾度も上映されている。

1983年のハーヴァード大学法科大学院でLGBTの権利、同性婚に関する論文を執筆。1990年代にはハワイの同性婚訴訟で、原告訴訟代理人の一人となり、アメリカ国内の同性婚運動へのさきがけとなる。同性婚のみならず、これまで、LGBTの権利やHIV/AIDSに関連するさまざまな訴訟に携わった経験を有する。2004年には、「Why Marriage Matters: America, Equality, and Gay People's Right to Marry」(出版：Simon & Schuster) を執筆。

米国では「the godfather of gay marriage (同性婚の父)」(Newsweek/The Daily Beast) と評され、米国の学術誌National Law Journalでは2000年に「米国でもっとも影響力のある弁護士100人」に、Timeでは、「世界でもっとも影響力のある人物100人」に選ばれる。2012年には、コロンビア大学バーナードカレッジより、オバマ大統領とともにバーナードメダル(Barnard Medal of Distinction) を受賞。

2015年に米国で同性婚が実現した後は、日本を含めた世界での同性婚の実現に向けた活動を行う。また、ジョージタウン大学ローセンターやイェール大学で教鞭をとるほか、世界最大規模の法律事務所Dentonsでシニア・カウンセラーとして勤務する。

1978年 イェール大学 (歴史学専攻) 卒業

1983年 ハーヴァード大学ロースクール 卒業

**主催 : 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)**

**共催 : LLAN (Lawyers for LGBT & Allies Network)**